

こんにちは 森林官(補)です!

おけと 【置戸町】

人口：約2700人
気温：冬-25℃～夏35℃
森林率：84%(うち国有林は約70%)
内陸性の過酷な環境ながら、豊かな森林資源を持つ「緑と清流の町」。

つねもと 【常元森林事務所】

所管：置戸町常元地区の国有林
担当国有林面積：約7,600ha

網走中部森林管理署
常元森林事務所
石橋 颯己

(地域の音楽サークルで
2022置戸町町民文化祭に出演)

置戸町と木の文化

常元森林事務所のある置戸町は、古くは林業の町として栄え、現在でも、林業の町の文化が地域に根付いています。

例えば「オケクラフト」は、地域ブランドとして置戸町の代名詞となっています。これは柔らかなデザインや木肌の温かさが人気ですが、実は、地域の製材工場から出るエゾマツ等の**端材を有効活用**しようとしたことが始まりでした。

また、丸太を運び出す際にバチと呼ばれる馬そりを使っていたので、町の夏まつりでは、「**人間ばん馬**」がメインイベントとして行われ、町公認のゆるキャラは、馬がモチーフの「おけばんばくん」です。

人間ばん馬で丸太と町長を運ぶ
～R4年度デモレース～

飛び入り参加
しました!

オケクラフト
withおけばんばくん

森を守り、伝える日々

私は森林官補として、現場2年目ながら一定の責任を持って常元地区を担当しています。

業務は様々ですが、主なものに「地況林況等調査」があります。これは林内の区域ごとに木の生育や土地の様子などを把握し、今後の事業方針を検討するための調査です。**数十年後の森の姿をデザイン**することは、難しくもやりがいのある仕事です。

また、当署では、システム販売の協定を締結し、大径のエゾマツ丸太等を、オケクラフトの材料として販売しているの、森林整備事業の監督中に該当する木があれば、別途仕分けるよう事業者にお願いしています。

また、管内には、「**鹿の子沢風景林**」というレクリエーションの森があり、これまでに2回、**町民の方々を案内してハイキング**を行いました。地元に住んでいても来たことがない方も多く、イベントを通して地域の自然をより身近に感じてもらえたと思っています。

また、プライベートでは地域で音楽サークルを結成して活動しており、職域を越えた友人や知人も多くできました。そうした仲間ともよく自然のある所に出かけ、木や森についての知識や魅力を発信しています。

木の太さを何本も測り、
森全体の成長を推定

鹿の子沢ハイキング